



令和2年11月27日

岐阜市立岐阜東幼稚園
こあら組だより No.23

かくれんぼ鬼ごっこ

日中は、遊びやすい気温の日が続いています。子供たちから、「鬼ごっこしよう。」という声があります。最初は、3人ぐらいで始めますが、楽しそうな様子を見て、「仲間に入れて」とメンバーが増えてきます。その言葉を聞いて「いいよ。」と受け入れ、次のかくれんぼ鬼ごっこが始まります。友達と逃げる場所を相談しながら一緒に逃げたい思いがあるようで、1人が「隠れる」というと子供たちはみんな『隠れる人』です。私が、「いないなー。」「どこに言ったかなー？」と言いながら、ゆっくりと近づいていくと、「うわあー。来るよ来るよ。」とスリルを感じ、ひそひそとうれしそうにささやき合っています。こあら組のかくれんぼのルールは、見つけられた子は、逃げて走っていくので、鬼は追いかけてタッチをすることになっています。「うわあー、走るの速いなー！」と言いながら追いかけるとニコニコです。他の遊びをしている子とぶつからないように気をつけながら、園庭を走ります。友達や教師と一緒に遊ぶ楽しさを感じて、10回続けて遊ぶ日もあります。役割を自分で選んで、体全体を動かして遊ぶ気持ち良さをたっぷり味わっています。

なべなべそこぬけ

帰りの会でなべなべそこぬけをしています。歌のリズムに合わせて、友達とつないだ手を揺らします。友達と向き合って、手をつなぐだけで、とっても楽しそうです。頭を寄せ合ってひっくり返ろうとしますが、なかなか難しいのです。しかし、諦めずにまた挑戦します。つないだ手でトンネルをつくって、2人の頭を入れるとできるよとコツを伝えたり、手伝ったりすると、うまくひっくり返ることができました。歌に合わせてうまく戻れると、「できた」と大喜びです。友達と一緒にすることが楽しいという気持ちがいっぱいです。

昔から歌い継がれている“わらべうた”は、ゆったりした優しい雰囲気の子歌が多いです。こあら組は、10人と少し人数が少ないです。しかし、人数が少ないということは、待ち時間が少なく、遊びやすいとも考えています。今後、はないちもんめなどの遊びもやっていきたいと考えています。



信号屋さんのところでスクーターの子が青になるのを待っています

順番っこに使っているよ

ままごと遊びの引き出しから、おもちゃのアイロンとドラえもんの布を見つけた子がいました。家庭でお母さんの様子を見ている子も多いので、アイロンがけは魅力的な遊びです。私が、「おかあさんみたいだね。いいね。」と男児2人に声を掛けると、「順番っこに使っているよ。」と教えてくれました。自分達で相談できたようです。自分達で楽しく遊ぶために相談できるようになったことに成長を感じます。わざとでなくてもぶつかってしまったようなときに、「ごめんね。」「いいよ。」と声を掛ける気持ちの良いシーンも多くなってきています。